



よい子に北山



令和6年8月20日 第18号

7月19日（金）1学期終業式「校長の話」・代表児童「発表」の内容

「今」の自分は「過去」の自分が食べたものやしたこと、しなかったことなどによってできています。つまり「過去」の自分からのプレゼントが「今」の自分。だから、2学期始業式の「未来」の自分にどんな自分をプレゼントしたいか、よく考えて夏休みを過ごしてください。「未来」の自分にプレゼントができるのは自分だけです！っていうのが話の概要です。

以下は式後「1学期を振り返って」を発表してくれた代表児童二人の内容です。



<3年代表:〇〇〇〇「ぼくは転校生」> ぼくは、4月の始めに大阪から北山小学校に転校してきました。最初はとても緊張して、心臓が飛び出るくらいドキドキしました。アローブで「転校生のなやみと〜」という本を借りたくらいです。だけど、担任の先生が関西弁で、ぼくはほっとしました。一学期頑張ったことは、社会科の勉強です。大府市の全ての小学校を覚えようと頑張りましたが、今覚えているのは、大東小学校と共和西小学校です。2学期は、もっと名前を覚えたいです。大府市は、大阪と比べると高いマンションが少なく、畑がとても多いです。ぶどうや梨を作っていると習いました。でも、北山小学校は、ぼくが前に通っていた大阪の小学校よりも大きいです。運動場も広くてたくさん走り回れます。友達もたくさんできました。今年の夏は、東海市とあいち健康の森の花火大会を見たいです。



<6年代表:〇〇〇〇「1学期を振り返って」> 「自分の限界を決めず乗り越えてみよう」これは私のクラスの学級目標のサブテーマの言葉です。私は6年生になってから学級目標を意識したと思うようになりました。特に、自分の限界を決めずに前向きに取り組むことを頑張ろうと思いました。そうすると今まで「もう無理」と諦めていた算数の問題にも最後まで頑張ることができました。その成果が出たのか、ほとんどのテストが80点以上で返ってきました。去年は算数のテストは80点以下ばかりで、前向きにはほとんど取り組めませんでした。でも6年生になってからは苦手な算数に前向きに取り組むことができました。学級目標を常に意識しようとする気持ちが結果を生んだのかも知れません。このこと以外にも「自分の限界を決めず乗り越える」をさまざまな場面で実行してみると、勉強することも、決められた係や委員会活動も、とても楽しく取り組めるようになりました。無理と思っても諦めないで挑戦すると、よい結果を生むことができる、楽しく行うことができることを、学級目標を常に意識することで知ることができました。また、一歩先へ目を向けることで、新しい発見をすることができると思います。2学期に向けて学級目標であるOver The Topをもとに、もっと新しいことに挑戦し、クラスの仲間と協力しながら、今よりレベルアップした最高の更上のクラスを目指したいです。そして、小学校生活を思い切り楽しみたいです。

7月30日（火）・31日（水）5年生 野外活動

本年度は「大府市野外教育センター」で野外活動を行いました。いくら場所が作手とはいえ、暑さが心配されましたが、日陰に入れば涼しさを感じられる環境で過ごせました。この一泊二日は、学年のめあて「心を磨く」のもと「人生の中で一度きり！！キャンプを楽しめ5年生！」をスローガンに、一人一人が自分の役割を果たしつつ、仲間と心と力を合わせ、楽しむことをがんばりました。あえてする不便な生活がよい経験です。大変だったけれど、みんなで作ったカレーライスの味は、人生の中で一度きりのおいしさでした。



きたちゃんインフォメーション



◆保護者の皆様からも「不安や悩みがあったら話してみよう」と伝えて！◆

文科省からの通知文に「18歳以下の自殺は、学校の長期休業明けにかけて増加する傾向がある。特に9月1日が顕著に多いデータがあるほか、昨年度は8月～10月にかけて多い傾向にある」とあります。別添「小学生のみなさんへ～不安や悩みがあったら話してみよう～」等を参考に言葉かけをお願いいたします。身近な人に相談しづらいとき用に、電話やメール等で相談できる窓口があります。ご活用ください。

<24時間電話相談「子どもSOSほっとライン24」>

電話番号 0120-0-78310 (なやみ言おう) または 052-261-9671

※10時00分～22時00分は、愛知県教育・スポーツ振興財団が実施している「こころの電話」の相談員が相談に応じ、夜間(22時00分～翌朝10時00分)は、転送電話により臨床心理士の相談員が在宅で相談に応じています。夜間は保護者も可です。

<SNS相談窓口「あいちこども相談」LINE ID: @aichi-kodomosoudan>

※毎週火・木・日曜日の午後4時～午後10時

※8/25～9/8、1/2～1/17は毎日相談できます。

※愛知県内公立小中学校の小学4年生から中学3年生までの児童生徒が対象です。

◆「おおぶクールシェアスポット」について◆

大府市では、「おおぶクールシェアスポット」として、市内公共施設や一部の民間施設を、6月から9月までの間開放しています。「おおぶクールシェアスポット」は、極端な高温時における熱中症による重大な健康被害の発生を防止するため、指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)、暑さをしのげる場所として開放されます。これらの施設には、右のようなポスターが目印として掲示されています。(スポットは北山公民館や市役所を含め、53カ所あります。詳細は、大府市公式ウェブサイトをご覧ください。)



Change is the law of life.

And those who look only to the past or the present are certain to miss the future.

変化は人生の法則である。

過去と現在しか見ない人は、確実に未来を見失う。

ジョン・F・ケネディ

ケロけるん

子どもたちや職員に計画的な取組の大切さを説く立場の私は、計画がとても苦手だ▼少し説明がいる。計画を立て取り組むこと自体は人並みにできる。でも何故だか、先を見通し、ゆとりをもって計画を立てて行動すると、ときめんに都合が起こってしまう▼例えば、家族旅行。ずいぶん前から計画を立てて行った沖縄。すると台風直撃で余計に2泊もするはめに。何日も前から予定して目当ての店に行くと、その日だけ臨時休業だったり閉店していたり。最近もあった。夏休みに入つてすぐ、2学期始業式で話す内容を決め、スライド等を準備していたら、工事や機器の関係で思い通りの式ができないこととなり、一から準備し直している▼これを苦手と言ってよいのか迷うが、計画との相性の悪さは私の特性なのだと思う。行き当たりばったりも一つの生き方だね! ? お願い、誰か「許す」って言って!